

●家具には転倒防止対策を

阪神淡路大震災の発生時には、倒れてきた家具の下敷きになって多くの方が亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。いま一度、身の回りにある家具などを確認してみましよう。

- 家具は壁に固定。
- 寝室や子ども部屋には、できるだけ背の高い家具を置かない。
- 倒れた時に入出口をふさがないように、家具の向きや配置を工夫。また、日頃から整理整頓を行い、常に通路やスペースを確保。



- ・タンス・冷蔵庫
 - ・床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定する。
 - ・テレビ
- 壁側の低い位置に固定し、粘着シートを敷いて転倒予防。

あなたの住まいは安全ですか？

大規模な地震が発生した場合でも命を守れるよう、住宅の安全性が保たれている必要があります。町では、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅について耐震診断や設計・補強工事費の補助を行っていますので、ぜひ活用ください。

なお、補助の予算には限りがありますので、ご検討されている方は下記までご相談ください。

問 都市計画課 ☎内線242

●備蓄品・非常持出品の用意を

○備蓄品：救援物資など外部からの支援が届くまでの間を生活するためのもの。過去の震災でのモノ不足が生じた教訓を踏まえると、最低3日分、出来れば5日分の水と食料を備えることを目指しましょう。



○非常持出品：災害が起こり、危険が迫ってきた自宅から緊急的に避難する際に持ち出すもの。避難するときに持って揃えていると逃げ遅れず。普段から備えてリュックサックなどに入れ、すぐに持ち出せる場所に準備しておきましょう。



●家庭内の防災会議で確認!!

○家族間の安否確認方法は別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるように、日頃から確認方法を話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなる場合もあります。災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板の利用方法など、家族で確認しておきましょう。



○避難場所や避難経路は、いざ災害が起きたときに慌てずに避難するためにも、避難場所や避難経路を事前に確認しておきましょう。いることが多い場所や通ることが多い通路など、災害が起こったような危険が起こる可能性があるかを、普段から話し合いましょう。

大磯町防災メール配信に登録しましょう

住民の皆さんに、より迅速に防災情報をお知らせすることを目的として、防災メールの配信をしています。防災行政無線放送の内容や、気象庁から発表された気象警報等を受信できます。ぜひ登録しておきましょう。

●防災メールの登録方法は・・・

- ①左記のQRコードを読み取るか、bousai.oiso-town@raidan2.ktaiwork.jpに空メールを送信
- ②返送されたメール内の本文に記載されているURLで登録
- ③登録完了メールが届いたら完了！



ワンポイント

町ホームページでは備蓄品を利用したレシピを紹介しています。

下記のQRコードを読み取るか、

「大磯備蓄レシピ」で検索してください。



問 スポーツ健康課 ☎内線319